

株式会社 前田源商店

認定テーマ名：^{かいき}甲斐絹復活による新製品開発と新市場開拓

1. 認定事業の現況

『伝統の甲斐絹の復興と連携グループ結成により地域を活性化』

当事業は、山梨県郡内地域に古くから伝わる甲斐絹（かいき）を復活させ、日本が誇る伝統商品として、国内はもとより、世界へ向けて発信していくことを目的としている。

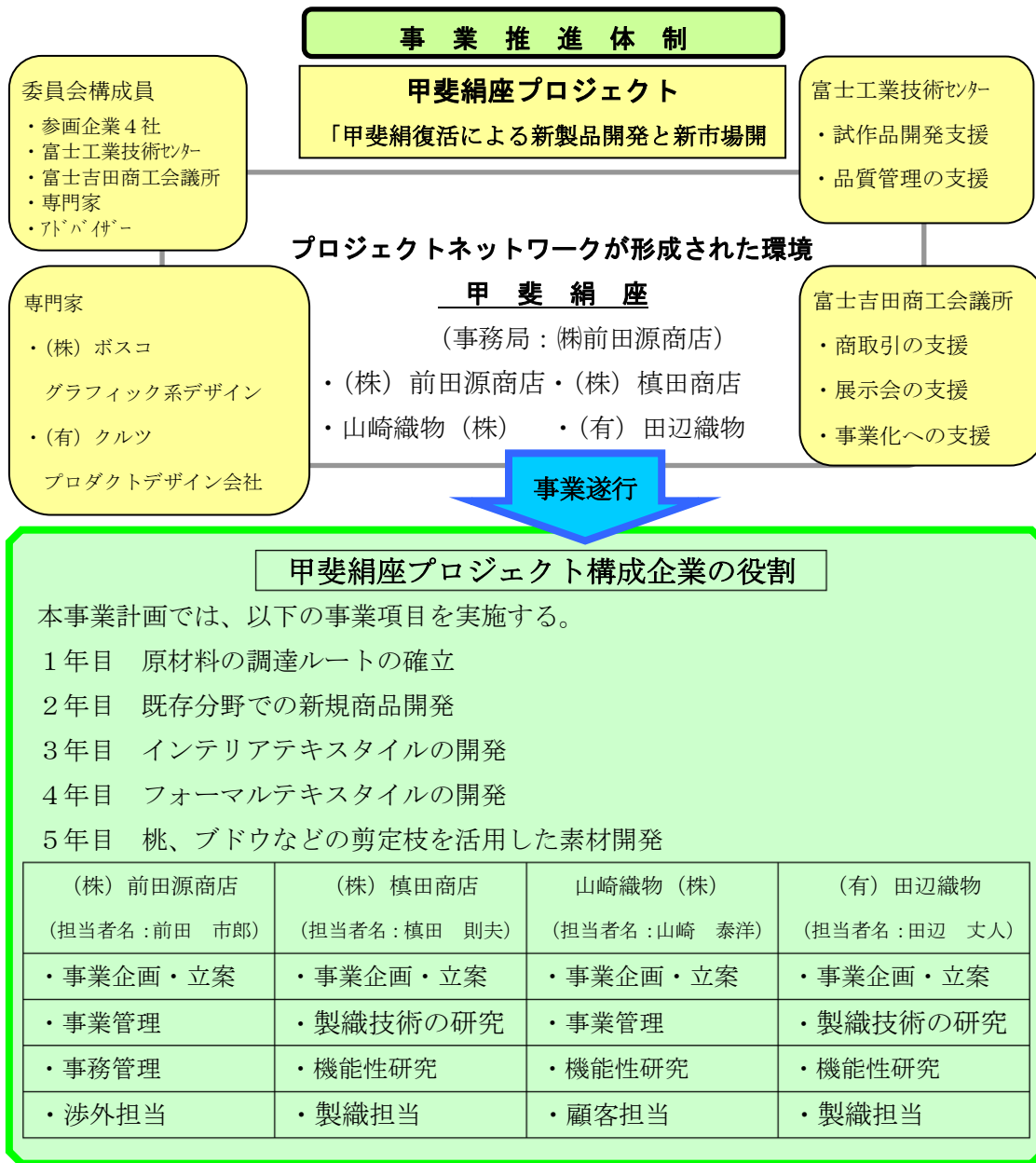
本事業に先立ち、平成14年には(株)前田源商店、(有)田辺織物、(株)榎田商店、山崎織物(株)の4社で甲斐絹復活事業展開のヘッドオフィスとなる甲斐絹座を立ち上げ、山梨県産繭を使った生糸で甲斐絹を復刻した。その後、本事業により、甲斐絹の特徴である先染技術が活かせる「玉虫甲斐絹」の復刻に成功し、約50色の色のバリエーションをストックできるまでになった。玉虫甲斐絹による製品では「かいきシリーズ」としてネクタイ、クッション、バック、傘等を開発し、「hangen」というブランド名で統一している。さらに、現在では玉虫甲斐絹の特徴を十分活かしたスカーフ、ランプシェード、ウォールパネル、PCクッションの試作・販売にも成功しているが、さらに良いものへの努力を惜しまない。

平成23年冬には、フランスのパリで開催された「メゾン・エ・オブジェ展」に出展し、純日本製シルクとしてデザイン・品質において非常に高い評価を受けた。円高の厳しい環境下ではあるが海外展開の可能性は高い。

「海外の展示会を中心に商談の準備や輸出方法などの確認を行なっていけば国内のビジネスよりも確実に販路開拓が見込める」と語るように、前田社長の地域資源を活用し、日本ならではの伝統工芸を復活させて世界に発信していく活動には目を見張るものがある。なお、甲斐絹座は、当事業3年目にして、株式会社として法人化した。これは計画より2年早く、前田社長の甲斐絹にかける情熱と理念には、頭が下がる思いである。



事業実施体制図



2. 今後の展望（見通し）

(1) 海外市場への取り組み

当社はシルクの市場が確立している海外の方が、正当な評価を受けやすいという結論から、今後は、海外展開に力を入れていく。基本的なコンセプトは、まず海外で評価を得てブランド形成し、その後、日本での認知度を高める戦略をとっていく方針である。

(2) 日本市場の開拓

一方で、円高の昨今、日本市場の開拓も必要であり、国内でも販売活動を強化していく。

「カプセルスカーフをテレビショッピングに出してほしい」等の依頼もあるが、テレビショッピングは、価値が正当に評価されないまま、市場から消えていく商品も多い。本来甲斐絹が使用されていた「茶道」に使用する袱紗等の袋物、座布団は、適正な価格での販売が期待でき

る。文化的な裏付けも行ないながら、先ずはどの販売チャンネルが良いのかしっかり市場調査していく方針である。

(3) 子供への伝承を通じた消費者の創造

子供たちへの教育活動として、製品としての「甲斐絹」だけでなく、養蚕農業も踏まえた地域文化や伝統文化継承活動もしていきたい。本活動は、「将来の消費者を育てる」「本物を本物としてわかる消費者を育てる」ことにもなり、知識を持った次世代を育てることへもつながる。

3. 認定を目指した経緯

「ビクターズ・インダストリー」という産業観光事業の立ち上げがあった時に、その事業を耳にした県庁職員から当時の富士吉田商工会議所の職員を通じて、本事業を紹介された。

この事業は、公的機関の方々が「経営者の人たちと、甲斐絹ビジネスで何かできないか」という話から始まった。話し合いが進み、公的機関と経営者の間で「ブランド品の良いものを作ってみよう」ということになった。検討の結果、甲斐の生糸も残っていたため、甲斐絹を作ってきた歴史を復活させることとなった。

4. 利用した中小機構の支援策

「中小機構には、情報が多くある。海外情報、全国情報、戦略的なノウハウを上手に使えるような施策が多くある。展示会情報、支援が大変良かった。NIPPON MONOICHI では、お客様との接点ができた」と同社社長は語る。

5. 企業概要

事業者名	株式会社 前田源商店 (株式会社 甲斐絹座)		
本社所在地	山梨県富士吉田市下吉田 2-25-24		
ホームページアドレス	http://www.maedagen.co.jp/ http://www.kaikiza.com/		
設立年月	1955年8月		
資本金	10,000千円	従業員数	6名
売上高	非公開		

※平成23年7月31日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	甲斐絹復活による新製品開発と新市場開拓
テーマの概要	素材としての甲斐絹を復活させ、その品質の優位性を生かした新製品の開発を行い、新市場を開拓する。これまでの大手企業のOEM生産に頼った事業からの脱却を目指し、独自ブランド「甲斐絹座」の創造と発展を目的とした事業を行う。
認定期間	平成19年11月1日～平成24年3月31日